

# The Mille Has Times

2024  
NEW YEAR  
VOL.7

小山実稚恵ピアノリサイタル  
1人と1台、大ホール震わす



ミルハスのスタインウェイ、どんなピアノ?

エビ中秋田分校公演

ピアノと調律師に聞く

# ミルハスのスタインウェイ、どんなピアノ

12月20日にミルハス大ホールで開かれた小山実稚恵ピアノリサイタルでは、ショパンとシューベルト、ブラームスの曲が披露され、観客の心を震わせた。このときの1台を含めミルハスにあるスタインウェイのフル・コンサート・グランドピアノ2台は小山さんが選定した。1台1台に個性があるとされるスタインウェイ。ミルハスのスタインウェイはどんな音色を出すのか。潟上市出身のピアニスト千田桂大さんと調律師の根田俊昭さん(秋田市)に聞いた。



ミルハス大ホールでスタインウェイを演奏する千田さん(2023年11月)

みずみずしい  
ピアノシモ出せる

### ピアニスト

## 千田桂大さん(潟上市出身)

千田さんは2023年、ミルハスの大ホールでスタインウェイ・ピアノを2度弾いた。いずれも第2回秋田・潟上国際音楽祭の公演で、7月の「千田桂大と仲間達 オールブラームスコンサート」と、11月の「仙台フィルハーモニー管弦楽団×レインハルト・ジーハファー&千田桂大」のステージ。2度とも同じ1台を使った。

演奏を振り返り、「みずみずしいピアノシモ(ごく弱い音)を出せる1台だっ

た。私は、ピアニストの勝負どころはピアノシモにあると思っている。だから初めてのピアノと向き合うときも、ピアノシモがどれだけ出せるピアノなのかを意識する」と言う。

「(実際に弾いた1台が)私には合っていたのかもしれない」とも。より元気な音を出すこととされるもう1台のスタインウェイを含めて「ピアノは育っていくものだ」として、ミルハス・スタインウェイの今後に期待を込めた。

千田さん自身もスタインウェイのグランドピアノを所有。スタインウェイは一般的に「近くでは派手に聞こえずに、離れた

所でむしろ生き生きと聞こえる」という。その理由について「特に高音の弦が持つ豊かな響きが低音の響きにもよく影響している」と解説した。

### ちだ・けいた

2002年、中学3年でカワイ音楽コンクールピアノ部門ソノ部の部全国大会で最高位を受賞。桐朋学園大音楽学部在学中に渡辺シエリック・ハイドシェックに師事。欧州でコンサートの実績を重ねた。近年は国内外で活動。文化の力で地域を盛り上げようと、自ら実行委員長を務め国内外から著名な演奏家や交響楽団を招き2022年に第1回秋田・潟上国際音楽祭を実現し、2023年には第2回を開いた。音楽祭出演者と県内の中高生が交流できる機会も設けている。



ミルハス・スタインウェイのアクション部分を引き出し作業する根田さん。鍵盤のタッチをそろえる作業を調整という(2023年11月)

## 音色華やか、大ホールとマッチ

中ホールではクリアに響く

### 調律師

## 根田俊昭さん(秋田市)

調律師として40年以上キャリアを重ね、現在は県内各地のホール、学校、音楽教室、一般家庭などのピアノの手入れをしている。ミルハスでは公演直前のピアノの調律や定期的な保守点検に当たり、合わせてすでに50回ぐらいいはミルハスのピアノを触っている。

ミルハスのスタインウェイ2台について「1台はピアノ協奏曲などでオーケストラにも負けない明るく元気な音のもの、もう

1台は小編成での演奏会や伴奏などに適した音色のもの」という考え方で選ばれたと聞いた。それぞれの特徴で2台ともバランスが取れていいピアノだと思う」と話す。

「ピアノの個性がホールの特性と調和することが重要だ」と強調。「だからステージ上で調律をすることには大切な意味がある」。その上で「スタインウェイの華やかな音色はミルハスの大ホールでよく生かされると感じる。小ホールAも思った以上によく響く。(演劇向きに響きの抑えられた)中ホールでのスタインウェイの響きも好きだ。一つ一つの音がクリアに聞こえる。10

月に中ホールで開かれたニューニューのリサイタルはまさにそういう響きで観客を驚かせた」と話した。

スタインウェイはピアノの中でも特に、十分に弾き込まれないと本領を発揮しないとも言われる。ミルハスの2台について「多くの人に弾いてもらって今、上り調子にある。これからどうミルハスと共存していくのか、3~4年後が楽しみだ」と笑顔を見せる。

「調律師がピアノの個性とかみ合わないことをやろうとしてもうまくいかない。そのことを忘れずにミルハスのスタインウェイ2台と付き合っていきたい」と話した。

## スタインウェイ・ピアノとは

「スタインウェイ&サンズ」社製のピアノ。会社は1853年、ニューヨークに設立された。その品質は早くから米国内にとどまらずヨーロッパでも高く評価された。鉄骨フレームや金属製チューブ式アクションをはじめとする革新的で的確な仕組みの採用とそれらの開発、改良による優れた基本設計はピアノ製造の規範となった。

1880年、独ハンブルクにも工場を開設。その製品は低音から高音まで美しく豊かな音色を出すことができ、ピアニストのタッチ次第で幅広く響きの強弱をつけられると高い評価を受けている。高度な表現を可能とすることから多くのコンサートピアニストたちに支持され、日本を含め世界の音楽ホールなどに備えられている。



ミルハスのスタインウェイ・ピアノ(大ホール)

# 「千のハス」、彩りあふれて 2,362個、館内各所に



ホワイエに色の波

上から見てもカラフル



エントランスわきで「どうぞお入りください」

あきた芸術劇場ミルハス1周年を折り紙の「ハスの花」で祝った「千のハス」プロジェクト。集まった「ハスの花」は2,362個と目標の2倍を超えた。1階エントランスホールに特設した「蓮池」だけでは収まらず、館内各所に展示。9月18日から10月31日まで44日間、提供者それぞれの祝意が込められた「ハスの花」が館内を華やかに彩り、来館者たちの目を楽しませた。



こだわりの用紙で折られたものも多数



報告もハスの花で



小さくても存在感は大



来館者こそって記念撮影



空間に気品添える



秋と競演



ガラスに映り込んで



# 8回目のエビ中秋田分校 圧巻、躍動の2時間45分

## 「ずっと続けたい」

私立恵比寿中学(通称・エビ中)の秋田公演「私立恵比寿中学秋田分校～変わっていくことと変わらないもの～」が11月11日、ミルハス大ホールで開かれた。公演前日、メンバーの小林歌穂さんと中山莉子さんに話を聞いた。恒例となった秋田分校は8回目を数え、2人とも秋田への親近感をますます膨らませている。



秋田分校のエビ中メンバー  
(写真提供ABS秋田放送)

秋田分校の生徒会長でもある小林さんはABS秋田放送のラジオ番組出演のため一時期は毎月、秋田に来ていた。「初めころは遠く感じたが、秋田の皆さんは本当に温かく、距離も感じなくなって今は来るのがとても楽しみ」と話した。最近ではラジオの口ケでまなぐ風(湯沢市)の絵付けを体験。「秋田は食べ物はじめ名産が多いが、『凧もか?』と驚いた。文化を大切にしている地域なのだとうれしく感じた」という。

中山さんにも最近、秋田に関する新しい発見が。「大曲の花火の『春の章』。夏は必ず私たちの大きなライブと重なってしまい見られないが、春なら早くからアピールすればもしかしてスケジュールを空けてもらえるかも。チャレンジしたい」と目を輝かせた。

秋田分校は、民謡歌手の藤原美幸さんや和太鼓グループNAMAHA郷神楽など秋田で活躍する面々との共演もおなじみだ。小林さんは「美幸ちゃんとはもう顔を合わせれば『ヤッホーッ』と言い合える間柄。NAMAHA郷神楽の皆さんは怖くて厳しい人たちかと思っていたらめっちゃ優しい」。中

公演を控えた  
小林さん(左)と中山さん



こばやし・かほ

2000年6月12日生まれ。2014年に私立恵比寿中学に加入。出席番号11番。特技はゆるいイラストを描くこと。

なかやま・りこ

2000年10月28日生まれ。2014年にエビ中加入。出席番号12番。特技はバトン、トランペット、片手前方倒立回転

山さんは「地域の皆さんの協力があって毎回素敵なステージを実現できている。今回は合唱団の方々も出演。交流しながら新たな挑戦ができるのがうれしい」と話した。

「協力してくれる方々とともに例年を超える秋田分校に」、「待っていているファンの方々のために今後もずっと秋田分校を継続したい」。二人が語った意気込み通り、公演では「秋田分校」校章の下でエビ中メンバー10人と共演者たちが客席と一体となり約2時間45分のステージを駆け抜けた。

2024年 1月・2月・3月

## 公演・イベント情報

1/6(土)

●大ホール  
2024あきた吹奏楽の日  
～大いなる秋田 定期公演～



14:00開演  
【お問い合わせ】  
あきた芸術劇場ミルハス TEL:018-838-5822

1/27(土)・28(日)

●小ホールB  
うさぎストライブ公演  
「あたらしい朝」



27日 19:00 / 28日 15:00開演  
【お問い合わせ】  
一般社団法人PAL TEL:018-874-9037

3/3(日)

●大ホール  
山形交響楽団  
特別公演 in ミルハス



※8ページに予告記事  
14:00開演  
【お問い合わせ】  
あきた芸術劇場ミルハス TEL:018-838-5822

1/8(月)

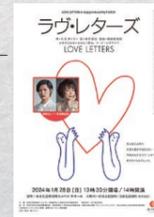
●大ホール  
だいすけお兄さんと  
まことお兄さんの  
世界迷作劇場  
2023～2024



①13:00 ②16:00開演  
【お問い合わせ】  
アークスインターナショナル TEL:0798-34-5377

1/28(日)

●中ホール  
朗読劇  
「ラヴ・レターズ」



14:00開演  
【お問い合わせ】  
あきた芸術劇場ミルハス TEL:018-838-5822

3/9(土)

●大ホール  
AKIRA FUSE  
LIVE TOUR  
2023-2024  
～刹那の夢がたり～



16:00開演  
【お問い合わせ】  
チケットパートナーズ TEL:022-222-2033

1/13(土)

●大ホール  
ユニコーン  
2023-2024ツアー  
「クロスロード」



18:00開演  
【お問い合わせ】  
キョードー東北 TEL:022-217-7788

2/4(日)

●大ホール  
仮面ライダー  
スーパーライブ2024



①10:30 ②14:00開演  
【お問い合わせ】  
秋田朝日放送事業部 TEL:018-888-1505

3/10(日)

●中ホール  
ABS特選落語会  
～其の三十七～  
昇太・たい平・  
宮治・小痴楽 競演会



14:00開演  
【お問い合わせ】  
秋田放送企画事業部 TEL:018-826-8500

1/21(日)

●大ホール  
関西二期会公演  
オペラ「カルメン」



14:00開演  
【お問い合わせ】  
公益社団法人関西二期会 TEL:06-6360-4649

2/10(土)

●大ホール  
ひろがるスカイ!  
プリキュア  
ドリームステージ♪



①10:30 ②14:00開演  
【お問い合わせ】  
プリキュアドリームステージ♪上演委員会(劇団飛行船)  
TEL:03-4500-6810

3/16(土)

●大ホール  
T-BOLAN  
LIVE TOUR  
2023-2024  
“SINGLES”～波紋～



17:00開演  
【お問い合わせ】  
キョードー東北 TEL:022-217-7788

1/24(水)・25(木)

●大ホール  
伝説のDance  
「プロメテの火」  
秋田公演



24日 19:00 / 25日 14:00開演  
【お問い合わせ】  
一般社団法人現代舞踊協会 TEL:03-5457-7731

2/12(月)

●中ホール  
清水ミチコ  
コンサート



15:30開演  
【お問い合わせ】  
キョードー東北 TEL:022-217-7788

3/17(日)

●中ホール  
DRUM TAO  
30周年記念新作舞台  
「THE TAO 夢幻響」



①14:30 ②17:30開演  
【お問い合わせ】  
キョードー東北 TEL:022-217-7788

※掲載しているのは公演・イベントの一部です。情報は12月中旬時点のもので、「チケット完売」の記載がない公演でもお読みになった時点では完売している場合があります。ご了承ください。

# Mille Has information

## 3月に山響が特別公演 指揮・佐々木新平さん、ピアノ・佐藤卓史さん

ミルハスでは初となる山形交響楽団（山響）の特別公演が3月3日（日）午後2時から大ホールで開かれる。

山響は1972年に東北初のオーケストラとして発足した。近年は、2017年発売の「モーツァルト交響曲全集CD」が第55回レコード・アカデミー（特別部門 企画・制作）を受賞。2020年には「ベートーヴェン交響曲全曲演奏会」を始め魅力を発信。オーケストラとして揺るぎない評価を確立している。

今回は、秋田市出身でミルハスアドバイザーの佐々木新平さんが指揮を執り、同じく秋田市出身でミルハスのフル・コンサート・グランドピアノ（ヤマハCFX）を選定した佐藤卓史さんがピアニストを務める。秋田と山形が強力なタッグを組んだ公演となる。

曲目は▽ウェーバー歌劇「魔弾の射手」J.277序曲▽ベートーヴェンピアノ協奏曲第1番ハ長調作品15▽ブラームス交響曲第2番ニ長調作品73—の3曲。

全席指定でS席4,500円、A席3,500円、B席2,500円。問い合わせはミルハス（TEL：018-838-5822）。



山形交響楽団 ©Kazuhiko Suzuki



佐々木新平さん ©S.Arita



佐藤卓史さん ©Takaaki Hirata



明けましておめでとうございます。あきた芸術劇場ミルハスは2回目の正月を迎えることができました。1昨年9月のグランドオープンから1年3カ月。人間でいえばようやくよちよち歩きをはじめたころである。本年も利用者、来館者の皆さまとともに

に、より愛され、親しまれる劇場へと一歩一歩着実に前へ進んでいきたいと思っております  
▼本年は辰年。「辰」は陽気が動いて、雷鳴が響き、草木の形が整って活力が旺盛になった状態を表すと解釈されている。動物に当てはめると、十二支では唯一空想上の「竜」（龍）である▼竜を使った言葉の一つに「登竜門」がある。中国の黄河に「竜門」と呼ばれる急流があり、この竜門を登ることができた鯉は龍に変身するといわれた伝説から「登竜門」という言葉が生まれたとされる。困難ではあるが、そこを突破すれば、成功への道が拓けるという意味で使われる▼ミルハスでも音楽をはじめ舞踊などのコンテストが多数開催されている。参加

者は練習の成果を存分に発揮し、竜門を駆け登ってほしい。ミルハスのステージから将来のスターが生まれることになれば、スタッフ一同にとってこんなうれしいことはない▼ミルハスは幸いなことに本年も土、日曜日を中心にスケジュールが埋まっている。これまで秋田になかなか来てくれなかったアーティストやオーケストラなども来てくれると思う▼竜にまつわる言葉も一つ。「一竜一猪」。竜は英雄や豪傑のたとえであり、猪は怠け者のたとえとして使われている。努力するかどうかで、賢さや成功の度合いに大きな差が出ることを意味している。この言葉を胸に新たな1年に挑みたい。



あきた芸術劇場  
Akita Arts theatre  
ミルハス

<発行>あきた芸術劇場ミルハス  
〒010-0875 秋田市千秋明徳町2番52号  
TEL.018-838-5822 FAX.018-838-5825  
E-mail/info@akiat.jp https://akiat.jp

